

ファイバーリサイクル 衣類の仕分けとラン干交流

2018.11.5

7名の組合員が集まり、99名の組合員から回収された衣類を仕分けました。
 今回新規登録した組合員は・・・「どんな服を提供したらいいか知りたくて・・・」と参加したそうです。
 また、「親が亡くなり、衣類や寝具などの処分に困って・・・」という組合員もいました。

ラン干交流では、JFSAの小島さんに質問が飛びます。なぜパキスタンなのか？パキスタンの教育事情、連帯しているAKGBの活動、そしてJFSAの国内外の活動について・・・

毎回課題になってしまうのが、JFSA(NPO 法人日本ファイバーリサイクル連帯協議会)で回収していない品目(フリース生地やスカートなど)の衣類が廃棄になってしまいます。今回は約40kgの衣類が廃棄になってしまいました。



30万km走行のバン。「車内を一杯にして帰りたい!!」と小島さん。
 遠い柏市からいつもありがとうございます。

県央ブロック ファイバーリサイクル活動2014年度～実績

